



春は必ずくる！

1月25日から2か月間続いた分散登校。この期間中はクラスメイトの半分としか顔を合わせることが無く、部活動も原則禁止で放課後の校内はとて寂しかったです。思い起こせば去年の4月、入学式で皆さんの前で初めてお話ししたことは「高校生活は勉強と部活動！」でした。

その学校生活の柱となる部活動が休止となり、何とも寂しい思いを募らせていた人は少なくないと思いますが、それもようやく解禁です。新型コロナの感染はまだまだ気を抜ける状態ではありませんが、収束の兆しは確実に見えています。いつもより長かった冬もようやく春を迎えます！

毎日のニュースに目をやると、東北地方で大きな地震があって復旧までに時間がかかったり、ロシアによるウクライナ侵攻が続いたりという明るい話題が少ないけれど、何処にも誰のところにも春は必ずやってきます。4月という節目を迎えるこの季節、新たな気持ちで新年度を迎えましょう！

「すべてはきっと好転する。そう信じて、辛抱強く耐え抜こう。耐え抜いたとき、あなたはとてつもない力を手にしていることだろう」

マハトマ・ガンディー インドの弁護士・社会運動家 1869-1948

保護者の皆様へ

この一年間、甲府西高校の諸活動に関してご協力・ご理解いただき感謝いたします。今年度も新型コロナまん延に伴い学校行事が思うように実施できないことが多くありました。来年度もまだまだ気の抜けない日が続きそうですが、生徒の笑顔と活気が溢れる西高生活となるようスタッフ一同、来年度も全力で頑張りたいと思います。一年間ありがとうございました。

1年次主任 平岩岳実

～4月行事予定～※今後予定が変更になる可能性があります **西高生活2年目スタート！**

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	金			16	土		鳳凰祭実行委員会・HR長合同会議
2	土			17	日		
3	日			18	月	B	きずなの日 第1回進路希望調査 防災避難訓練
4	月			19	火	B	校歌練習
5	火			20	水	B	歯科検診
6	水			21	木	B	生徒協議会
7	木	行	新任式 前期始業式 大掃除 PTAクラス理事選出	22	金	B	第1回PTA理事会・年次部会理事会
8	金		第76回入学式	23	土		
9	土			24	日		
10	日			25	月	A	きずなの日 総体壮行会 部集会
11	月	行	スタディサポート(学びの基礎診断) LHR	26	火	A	眼科健診
12	火	行	スタディサポート(学びの基礎診断) LHR	27	水	A	
13	水	行	身体計測 新入生歓迎会 IBDP始業式	28	木	A	委員会集会 大掃除
14	木	A	授業開始 PTA役員会	29	金	行	昭和の日 PTA総会
15	金	A	春季バイク通学許可式	30	土		

一年を振り返って ☆各クラスの委員長さんに寄稿してもらいました！（順不同）

○姫野 爽士くん（2組）

今年度を振り返って、第一に思うことは「あっ」という間の一年間だったということである。つい先日入学式があったという感覚だが、それはもう一年も前の話であり、もう次の一年生を迎える番なのだ。けれども、そんな感覚は、今年度の一年間がどれほど濃密な時間だったかを物語っているということでもあると思う。

西高に入学してから、目まぐるしいくらいいろいろなことがあった。初めての鳳凰祭、球技大会、部活動、模擬試験、定期試験…今までの十六年間で最も濃い一年だったと私は思う。

もちろん新型コロナウイルスの影響もあり、本来ならばもっとワクワクする一年になっていたのかななんて思ったりすることもある。鳳凰祭で屋台をしたり、お話ししながらお弁当を食べたり…しかし、私はこの一年間に後悔はない。満足にできないことやうまくいかないことも沢山あったが、これらの全ての経験が糧になると信じている。

もう少しだったら二年生。どんな出会いや出来事が待っているのか。一年後の自分が後悔しているなんてことがないように、一日一日を大切に充実した日々を送りたい。



○弦間 夢翔くん（1組）

振り返って見ればこの1年様々なことがありました。その中でも僕が1番印象に残っていることはやはり鳳凰祭です。鳳凰祭は6月ということもあり、まだクラスの全員の仲が深まっているとは言えない状況でした。しかし、学年1番を目指すという1つの目標に向かって全員が気持ちを一つにした結果、学年で総合優勝することが出来ました。これは鳳凰祭の準備期間に全員が協力し、楽器作りを頑張ったり、ダンスを揃えたりすることを必死に頑張った、努力の結果だと思います。男装女装コンテストでも優勝することができ、1組の全員の力が合わさればなんでもできるクラスなんだと実感しました。球技大会やクリスマス会などでも係の人を中心にみんなで助け合い、思い出に残るいい行事として終わることが出来ました。このように1年を振り返ってみると1組のみんなはどの行事も全員が全員をカバーしあって成功させてきました。これは全員が同じ意識を持って取り組んでいないと出来ないことだと僕は思います。1組のみんなはそれが出来ます。本当にすごいクラスです。

自分は1年間、委員長として特にみんなに出来たことはなかった気がします。クラスのみんなに支えられてばかりで頼れるような委員長ではなかったと思います。しかしみんなのおかげでここまでいいクラスになることが出来ました。僕はこの1年間このクラスで本当に良かったと思います。1組のみんな、1年間本当にありがとう！



○新田 颯斗くん（4組）

この1年間を通して、4組や他のクラスの人にはたくさん助けられてきました。僕が1番心に残っている出来事は、鳳凰祭のモニュメントを作るために、牛乳パックをひもで繋げている際、僕が序盤で牛乳パックの順番を間違えていて、1時間程度やってきた作業がやり直しになった事です。もし、僕がそのような場面に会ったら、絶対に怒ると思いますが、その時一緒に作業をしていた子は笑いながら「最初からだね」といって一緒に作業を一からやり直してくれました。それだけでなく、教室にいた人達や、他のクラスの子達も笑顔で手伝ってくれて、僕は4組と西高の1年生の優しさを心から感じる事ができました。

「支えられるリーダー」

1年間を通して、それが僕にぴったりの言葉だったと思います。4組には、たくさん笑わせてくれる人、陰で働いてくれる人、教えるのが上手な人、リーダーとなり動いてくれる人など、色々な素晴らしい一面を持った人がとても多くいて、僕をたくさん助けてくれました。しかし今振り返ってみると、自分1人の力ではなにも出来ない僕だったからこそ、クラスのみんなに助けてもらえ素晴らしい一面を見つけることができたのだと思います。1年間を振り返り、僕は4組で良かったと心から思うことができます。

来年度は、感染症の影響で鳳凰祭や、分散登校など様々なことがどうなるかまだ誰にも分かりませんが、残り2年の高校生活を存分に楽しみ、みんなで協力して、最高のチーム西高を作っていきましょう！

1年間ありがとうございました 4組のみんな、本当にありがとう！！



○東 知宏くん（5組）

長いようで短かった一年間。西高に入学し、気が付くともうすぐ一年が経とうとしていて時の流れの速さを実感します。

中学生のころに憧れた高校生活とは大きくかけ離れた学校生活を送り、様々なことが制限されてしまった一年間だったものの、こんな時だからこそという経験もできたように感じました。

私が一番心に残っている思い出はやはり鳳凰祭です。多くの人が私と同じように鳳凰祭を挙げるのではないのでしょうか。私は西高の鳳凰祭が西高に通いたいと思うようになったきっかけでした。そんな鳳凰祭が例年とは違う形で実施せざるを得ない状況にあったことがとても残念でした。しかし、クラスメイトやクラス、学年を超えて鳳凰祭を盛り上げて楽しもうと一生懸命準備に取り組んだのは良い思い出です。誰が悪いわけでもないこの状況に対する怒りを良い方向に向けることができ、今年度なりにとても楽しみ多くの事を学べたと思います。

この一年間は想像通りにいかないことが多くあったものの、それでも楽しく学校生活を送れたのは周囲の環境のおかげだと思います。この一年間を共に走りきった仲間と先生方には特に大きな感謝を伝えたいです。この一年間本当にありがとうございました。



○河野 友似羽くん（3組）

西高に入学して早一年、時間があっという間に過ぎてしまいました。思い返してみると委員長としての活動では、副委員長を含めたクラスメイトに助けられてばかりでした。他クラスには優秀なリーダーがいる中、学園祭や球技大会、それにクラス行事など、なにをするにもヘマをしでかす委員長を暖かい目で見守り、最後まで協力して、最高のクラスを築いてくれたクラスの皆さんには頭が上がりません。それほどまでに三組は素晴らしいクラスです。そしてそのような素晴らしい生徒が所属する二年次のクラスでは、どのクラスもきっと素晴らしいクラスになることでしょう。

